

紫陽花が咲いている**土壌の水素イオン濃度指数**が

酸性だと青系に、アルカリ性だと赤系に、中間だと紫系になります。

しかし、品種改良されたものは色が変わらないものが多いです。

ちなみに、日本では、火山地帯で雨も多く弱酸性の土壌が多いため、青系や紫系が主流ですが、欧州ではアルカリ性の土壌が多いため、赤系が主流となっています。

美しい青紫のあじさいは、日本だからこそなんですね。

